

【新型コロナウイルス感染症の「3つの顔」について】

新型コロナウイルス感染症には、「3つの顔」があると言われています。

- 第1の感染症：病気そのもの
- 第2の感染症：不安とおそれ
- 第3の感染症：偏見・差別

1 「第1の感染症：病気そのもの」を防ぐために

3密を避けることや一人一人の衛生管理を徹底しています。学校では、「手洗い」（洗うタイミング・洗い方等）の指導に力を入れています。

2 「第2の感染症：不安とおそれ」

不安やおそれは、「気づく力」・「聴く力」・「自分を支える力」を弱めると言われています。不安やおそれは身を守るために必要な感情ですが、冷静な対応ができなくなることもあります。

学校では、下線部について、学年に応じた表現で児童に伝えています。必要以上に不安やおそれを抱く必要はなく、何かあれば教員に相談するよう児童には常日頃から話しています。

3 「第3の感染症：偏見・差別」

不安をあおることは、偏見や差別を生んでしまう可能性があります。

学校では、何より「確かな情報」の発信に努めます。また、発達段階に応じた心の教育に努める中で、なぜ偏見や差別がいけないのかをきちんと児童に伝えていきたいと考えます。

特に、「偏見や差別」については、一人一人の心もちや言葉遣いだけで、大きく状況が変わってしまうことがあります。

今一度、「情報は正しいのか」「人に伝えるべきか」「伝えたらどうなるか」など、先を見通した行動がとれるよう、日々の生活の中で児童へ問いかけていきます。

御家庭におかれましても、同一の認識で御協力をお願いいたします。